

‘07-9-20

## 平成 19 年 9 月度「街づくり委員会」議事録

日時：‘07-9-19（水）19：30～21：30

場所：膳所駅前商店街（振）事務所

出席委員：橋本、中井、竹吉（平野学区自治連合会）、乾（運営準備会）

森、杉本（平野商店街）、竹内議員、森田、安田（大津市）、森、雨宮、奥村、原田、寺井、上原、戸所（膳所駅前商店街）

議事内容；

## 1. 膳所駅舎橋上化進捗状況の報告（竹内議員、森田課長）

市議会で竹内議員が一般質問を行い、市長から「膳所駅舎の橋上化についてはJR西日本とも駅舎の位置確認が出来、平成 24 年着工を目処に推進する。」との答弁を得たとの報告があった。また森田課長からは近々業者とコンサルティング契約を結び、駅舎のレイアウト、駅前広場の整備計画、工期などの具体的検討に入ること、更に、来年度は数千万円規模の予算確保を図るとの報告も受けた。（昨年度調査予算 200 万円、今年度は 400 万円）

## 2. 平野市民センターの新築移転進捗状況の報告（竹内議員）

市議会で竹内議員が一般質問を行い、市長から「新築移転場所は膳所駅前市営駐車場敷地内とすること、また建設資金捻出のため現市民センターの跡地を売却することも視野に入れる。」との答弁を得た。ただし、売却は種々問題がある。

## 3. 竜が丘南北横断歩道橋の進捗状況の報告（中井委員）

6 月、7 月、8 月に実施した工事の入札は予算（約 1 億 2 千万円）がネックとなり、いずれも応札がなかった。これにより、今年度中の完工は事実上不可能となった。ただし、予算は来年度も継続して計上されるので、引き続き進捗状況を見守るとの報告があった。

## 4. コミュニティバスの導入検討進捗状況の報告（雨宮、戸所委員）

現在までの検討状況が以下の通り報告された。

- ① ‘07-8-7、内閣官房都市再生本部事務局内にある「地域活性化総合相談窓口」を通して、近畿運輸局滋賀運輸支局を訪問した。ここで、今年 5 月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が成立したこと、大津市に「地域公共交通会議」が設置されており、この会議の座長は醍醐コミュニティバスの導入に中心的役割を果たされた中川京大教授であることの情報を得ると共に、大津市建設部交通・建設管理課と相談するようアドバイスを得た。また各地のコミュニティバスの導入実態の紹介を受け、今後とも指導、助言の形で協力するとの発言を得た。
- ② ‘07-8-28、大津市建設部高木主査と面談し、平野学区で検討中のコミュニティバス導入構想の説明を行った。市としては積極的にコミュニティバスを導入

する考えはないが、住民のニーズがあれば支援はやぶさかではないこと、更に、本件中川先生に報告しておくとの発言を得た。後日高木主査から中川先生に報告したところ、「興味がある。具体的モデル案を基に話し合いをしてみたい」とのコメントがあった旨連絡が入った。中川先生が求めている項目は、運行ルート案、運行エリア、経費の捻出方法などである。

以上の報告を行った後、運行ルート案につきフリートーキングを行った。主な意見は以下の通り。(順不同)

- ・現在のバス停の位置を確認する。
- ・停留所の設定の仕方につき醍醐のケースで勉強してみる。
- ・平野学区南北の循環型で設定する。
- ・アンケートの結果を参考にする。
- ・天津市では過去にミニバスを導入し、廃止した経歴がある。なぜ廃止したのか検証する。
- ・資金援助を受けたいスポンサーの意見も聞いてみる。
- ・運行エリアにつき、学区を跨ぐ検討もしてみる。(病院循環のケース)
- ・ゴミ集積所を停留所に設定したらどうか。
- ・学区全体のマップを眺めながら設定してみるとよい。

今後、これらの意見も参考に、準備委員会などで、早急にたたき台を作り、中川先生との話し合いに持ってゆく。

「コミュニティバス検討グループ」の設置も今後行う。

#### 5. その他

街づくり委員会の運営準備会、運営委員会の19年度スケジュールを確認した。

以上(文責:乾)